

第 7 期

昭和22年4月30日～昭和26年4月29日 [昭22.4.30選挙執行] 定数44名

この期の 主な出来事

- * 6・3・3制教育開始 (昭22.4)、湯川秀樹ノーベル賞物理学賞受賞 (日本人初) (昭24.10)
- * 初の公選市長に高田富興就任 (昭22.4)、第1回さっぽろ雪まつり開催 (昭25.2)、札幌村の一部編入、白石村と合併 (昭25.4)

市会から市議会へ

昭和22年5月に地方自治法が施行され、これまでの中央集権的な地方制度から地方自治の本旨に基づく地方自治制度へ画期的に改革されました。これに伴って「札幌市会」から「札幌市議会」と改称しました。しかし、横浜・名古屋・京都・神戸市の議会では、それまでの慣例から「市会」の呼称を現在も使っています。

初の女性市議会議員

昭和22年4月に初の統一地方選挙が行われました。札幌市議会選挙では、定員44人のところ、150人が立候補しました。女性は6人立候補して3人が当選し、初の女性市議会議員が誕生しました。

初の請願

請願は、国民に認められた憲法上の権利の1つで、議員の紹介により議会に提出されます。札幌市議会に最初に請願が提出されたのは昭和23年1月9日で、「豊平川以南に土木施設をなす件」ほか3件です。

100条委員会

議会は、地方自治法第100条により、地方公共団体の事務に関する調査を行い、関係者の出頭および証言並びに記録の提出を求めることができます。昭和22年に交通局の内紛問題について交通局調査特別委員会が設置されたのが初めてです。



第7期市議会議員 (市庁舎屋上で撮影)



市創建80周年、自治制施行50周年記念 (昭24.7) 記念式典を花電車で祝う市民



道路拡幅の可否をめぐって市議会だけでなく、国会でも論議を呼んだ南4条疎開跡地 (昭24頃)



全国市議会議長会第14回総会を札幌市で開催、その駅前案内所 (昭23.8.25～26)



第 8 期

昭和26年4月30日～昭和30年5月1日 [昭26.4.23選挙執行] 定数48名

この期の 主な出来事

- * サンフランシスコ平和条約・日米安全保障条約調印 (昭26.9)、NHKがテレビ放送開始 (昭28.1)
- * 札幌～千歳間弾丸道路舗装完成 (国道36号) (昭28.11)、琴似町、札幌村、篠路村と合併 (昭30.3)

全国に先駆け委員会を公開

国会はもとより地方議会のほとんどが委員会の非公開制を採っている中で、昭和28年4月に札幌市議会が全国に先駆けて委員会を公開しました。現在でも全国の市議会では委員会を原則公開している議会は、全体の3割に過ぎません。



第8期市議会議員



円山動物園発足 (昭26.9)

原生林を切り開いた自然環境の中に、オオワシ1羽、エシカ1頭、ヒグマの子2頭の動物と、伸よし電車、豆自動車の遊戯施設を作り、子供たちに喜ばれました。



道内最初のし尿科学処理施設、北光処理場竣工 (北28東1) (昭30.9)



札幌駅新築 (昭27.12) 明治の駅舎に代わって新築の札幌駅



全国都市自治確立総決起大会で意見を述べる斎藤議長 (昭29.2.25虎の門共済会館)